

記入例

参考様式

〇〇年〇〇月〇〇日

工事実施報告書

確認者が監理者、設計者の場合は、その方個人の署名、施工者の場合は会社名および代表者名の署名します。

埼玉県知事 殿

報告者名 〇〇 〇〇

認定申請に係る建築物の耐震改修工事が、耐震改修計画の妥当性をに施工されていることを確認しましたので、以下のとおり報告します。

建築物の名称を記入します。
個人住宅の場合は、「〇〇邸」などとして。

建築物の概要	名称	〇〇マンション		
	用途	共同住宅		
	地名地番	〇〇市〇〇番地〇〇号		
	規模	階数 地上 〇階 / 地下 〇階 / 塔屋 〇階 建築面積 〇〇〇.〇〇㎡ / 延べ面積 〇〇〇.〇〇㎡		
	構造	〇〇〇 造 一部 〇〇 造		
	耐震改修計画 評価書の概要	耐震改修計画評価機関名：	〇〇〇〇	
	耐震改修工事 の実施日等	耐震改修計画評価書の発行日：	〇〇年 〇〇月 〇〇日	
確認者	監理者 <input checked="" type="checkbox"/>	事務所名	〇〇〇建築士事務所	
		登録番号	(〇〇) 知事登録 第 〇〇〇〇	
	設計者 <input type="checkbox"/>	氏名	〇〇 〇〇	
		資格	(〇〇) 建築士 (大臣) 登録 第 〇〇〇〇 号	
	施工者 <input type="checkbox"/>	会社名	〇〇株式会社	
		氏名 (現場責任者)	〇〇 〇〇	
		資格	〇〇〇〇	
所在地	〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地			
連絡先	〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇			

申請書の第二面と同じ記載内容としてください。

申請書に添付する耐震改修計画(補強計画)の評価書から転記します。

確認者が監理者または設計者の場合は、該当する□に✓を入れ、事務所名等を記入します。設計者の場合は、耐震改修計画(補強設計を行った)者とし、申請者第三面に記載の内容と同一とします。

確認者が施工者の場合は、□に✓を入れ、施工会社名等を記入します。当該施工現場での責任者(現場代理人等)で施工を確実に実施したことを証明できる方の氏名、およびその方が持つ資格等があれば記入してください。(例：一級建築施工管理技士など)

確認者が監理者または設計者の場合は、事務所の所在地および連絡先、施工者の場合は、施工会社の所在地および連絡先を記入してください。